

透明アクリル樹脂エマルジョン

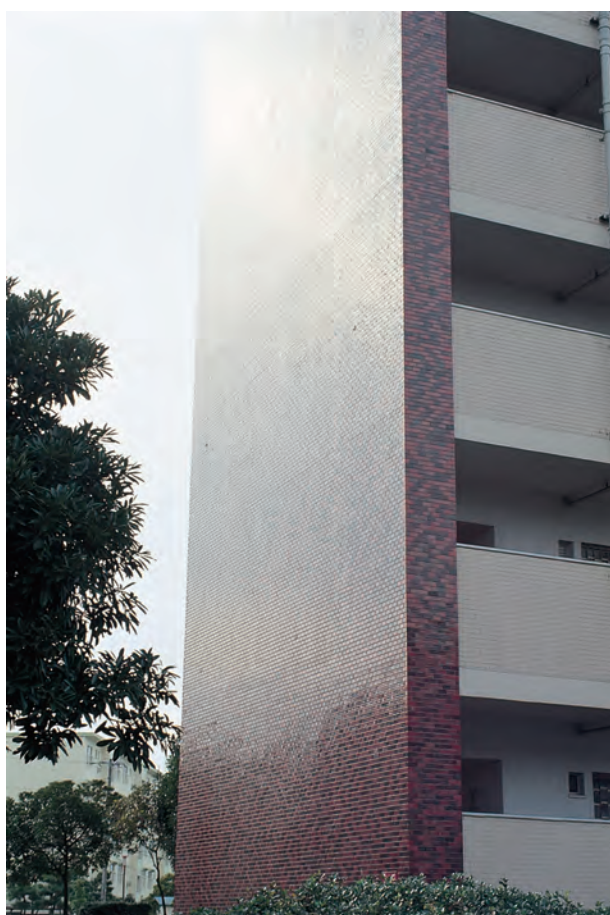
DIA

ダイヤ ビフレッシュプラス

貼りタイルの表面劣化、雨水の浸入防止

特徴

- 透明度の高いアクリル樹脂エマルジョンの塗膜でタイルの意匠性を損なわずに外壁からの雨水浸入を防ぎます。
- 撥水剤とは異なり、水密性の高い塗膜により建物を水から守ります。
- 仕上げのBPトップ艶有り、5分艶有りは耐汚染性に優れています。



(ビフレッシュプラス・施工)

標準仕様

工程	使用材料		塗回数	使用量 kg/m ²
1	ダイヤBPプライマー	アクリルシリコン樹脂(溶剤系)	1	0.12
2	ダイヤビフレッシュプラス	アクリル樹脂エマルジョン(水系)	2	0.3~0.5
3	ダイヤBPトップ5分艶有り	アクリルシリコン樹脂(溶剤系)	2	0.2
3	ダイヤBPトップ艶有り	アクリルシリコン樹脂(溶剤系)	2	0.2

※下地の状態(目地やタイル形状)により、塗布量に差異が生じることがあります。

使用製品・荷姿

製品名	入れ目	備考
ダイヤBPプライマー	15kg	主剤9kg:硬化剤6kg
ダイヤビフレッシュプラス	16kg	16kg
ダイヤBPTopp艶有り	15kg	主剤9kg:硬化剤6kg
ダイヤBPTopp5分艶有り	15kg	主剤9kg:硬化剤6kg
ダイヤバリヤプライマー-E	14kg	14kg

基本物性

項目	性状・性能	備考
付着強さ N/mm ²	2.47	
温冷繰り返し後の付着強さ N/mm ²	2.02	
粘度 (mPa・s/23℃)	2rpm 200,000 20rpm 50,000	BH型粘度計
T I (23℃)	3.5	BH型粘度計
タレ性 (mm)	0	JIS K 5400
引張強さ (N/mm ²)	2.7	JIS A 6021
破断時の伸び率 (%)	250	JIS A 6021
促進耐候性 (2500hr)	ひび割れ、剥がれ等異常なし	JIS K 5600 キセノンランプ法

施工・管理上の注意

1. 材料が付着乾燥しますと取れませんので、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。
2. 水洗後は塗装下地、特に目地部を十分に乾燥させてから次工程に移って下さい。乾燥不十分の場合、ムラ、剥離等の生じる原因となります。
3. 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
4. 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化やムラが発生し、壁面に残る場合があります。
5. 清水で希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上がらないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
6. 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
7. 工程間隔時間は充分取って下さい。
8. 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
9. 材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
10. シーリング材の上に施工する場合は、シーリング材の種類、材質によって汚染、亀裂、剥離など不適合が発生する場合があります。変性シリコン系シーリング材等の可塑剤の移行による汚染が懸念される場合には、ダイヤバリヤプライマー-Eをご使用ください。
11. 吸い込みの大きいタイル(レンガタイル等)、ラスタータイル(パール調)へ施工する場合は、最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。
12. タイル洗浄剤の取扱いには注意し、防護眼鏡やゴム手袋等を使用して下さい。
13. タイル壁面洗浄の際、フッ酸、フッ化アンモニウム系洗浄剤は、仕上材の密着性不良の原因となりますので使用しないでください。
14. 油污れ、排気ガス汚れ、及び析出・固着したシリカ分やカルシウム分を市販のタイル洗浄剤を用いて洗浄して下さい。タイル洗浄剤の選定に際しては、テスト洗いをを行い、タイル表面の傷みや洗浄効果をよく確認してから選定して下さい。
15. タイル張り仕上げ壁面の劣化・破損箇所は、タイル部分張替え工法、目地ひび割れ改修工法、樹脂注入工法、Uカットシール材充填工法、アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法などの工法を適切に選定し、改修して下さい。
16. 下地処理で使用するエポキシ注入材や、シーリング材用のプライマーが表面に付着した場合、時間経過と共に黄変、白化、剥離の原因となるため、溶剤拭きで完全に除去してください。
17. BPプライマー、BPトップは、溶剤系材料ですので、火気のあるところでは使用しないで下さい。屋内の取扱作業場には、局所排気装置を設けて下さい。また、塗装に使用する電気機器は防爆仕様にして下さい。取扱いおよび塗装作業の周辺では、静電気や火花が発生する機器、器具等は使用しないで下さい。

安全衛生上の注意

1. 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
2. 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
3. 子供の手の届かない所に保管して下さい。
4. 作業中・作業後は充分換気を行ってください。
5. 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
6. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
7. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
9. 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
10. 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

*施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。

*施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。



株式会社 ダイフレックス

DYFLEX

取扱店

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7赤坂Kタワー7F

☎ (03) 6434-7249 FAX. (03) 6434-7375

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。